

令和5年度 東中筋小学校 学校経営方針

1、学校経営理念

学校は、子ども達の健全育成のために在ります。確かな力、豊かな心、健やかな体を健全に育んでいくために、学校と家庭、地域が一体となって地道に教育活動を実践していかなければなりません。子ども達一人ひとりが、夢や希望を抱いて意欲的に学び、自尊感情や他者への思いやりを大切にしながら、知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性と実践力を身に付けた子どもの育成に、全職員が一丸となって取り組んでいきます。

2、学校経営基本方針（本校の特色ある取り組み）

日本国憲法、教育基本法の理念を基本とし、高知県及び四万十市の教育行政方針の示すところに従うとともに、児童・地域・学校の実態を踏まえて、特色ある学校づくり及び教育課程の創造に取り組み、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と実践力を身に付けた児童の育成に努める。

①組織として協働し、お互いに高め合う学校 ～チーム学校の構築～

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善～算数科の研究を通して～
（リーダー学習を取り入れ児童が主体的に取り組む授業形態、ICTの効果的な活用）
- ・お互いに切磋琢磨しながら、授業力の向上と連携を図り、日々の授業の質を高める。
- ・学校の組織マネジメントを強化し、検証・改善のサイクルを継続しながら、組織的に学校の目標実現や課題の解消を図る。
- ・メンター制を活用した若年教職員の育成に努め、組織としてOJTに取り組む。

②道徳教育・人権教育の実践研究に努め、お互いに認め合い尊重し合う学校 ～組織的・協働的な課題解決～

- ・道徳教育・人権教育を推進し、お互いに認め合い尊重して、ともに高めていこうとする児童を育てる。
- ・道徳科の時間を要としながらも、家庭、地域と連携して児童の道徳性の成長を促す。
- ・規範意識や自尊感情を育てる組織的な取り組みを行う。

③ふるさと教育を推進し、地域と一体感のある学校 ～家庭・地域との連携、協働～

- ・本校のよき伝統と先人の業績を継承するとともに、家庭や地域、関係機関との連携を図り、故郷に誇りをもつ児童を育成する。
- ・東中筋地区青少年を育てる会や学校支援地域本部（地域学校協働本部）との連携を密にし、地域の児童生徒を地域で育てる環境を作っていく。
- ・「ふるさと教育」の取組を推進することを通して、ふるさとを理解し、ふるさとに誇りを持ち、将来的にふるさとを担う人材を育成する。
- ・保・小・中の更なる連携を図ると共に、小・中9年間を見据えた教育活動を推進する。

④個に寄り添い、一人ひとりが大切にされる学校 ～厳しい環境にある子どもたちへの支援～

- ・外部組織（要保護児童対策地域連絡協議会、四万十市福祉事務所、幡多児童相談所、中村特別支援学校、SSW、SC等）との連携を密にする。
- ・校内支援会の充実を図り、情報共有、早期発見、継続的な取組を組織として行う。
- ・不登校の未然防止を図るため、開発的な生徒指導を行うとともに、家庭や各組織と連携しながら不登校傾向の児童への支援を図る。
- ・命を大切にし、よりよく生きようとする健やかな体と心を育てる。

3、学校教育目標

「主体的に学び、心豊かでたくましく、ともに高め合う児童の育成」

～笑顔いっぱい あいさついっぱい 元気いっぱい ひがなか小～

4、めざす学校像

『明日が待たれる学校づくり』～皆の笑顔のために～

- ・子どもたちにとって、その個性を思う存分に発揮でき、学ぶことが楽しい
- 『この学校に来て良かった』と心の底から思える学校
- ・保護者や地域の方々からは、『この学校にやって良かった』と信頼される学校
- ・教職員にとっては、『この学校に勤めて良かった』とやり甲斐や誇りのもてる職場とする。

5、めざす児童像

- ・すすんで学ぶ子
- ・自然とともに生きる子
- ・心ゆたかな子



6、めざす教師像

- ・子どもを良く知り尊重して、子どもとともに伸びる教師
- ・子どもと心がふれあい、愛と厳しさを持って指導する教師
- ・心と力を合わせ、信頼される学校づくりに協働する教師
- ・謙虚に学ぶ態度をもち、専門職としての資質、指導力の向上に努める教師

7、本年度の重点目標

- ①豊かな人間性と実践力を身につけた子どもを育てるための教育課程を編成し、組織として取り組み、活力のある学校を目指す。(チーム学校の構築、道徳教育・人権教育の推進)
- ②「よく学び、よく考え、よく遊ぶ子」を育てるために、教職員の資質の向上と連携を図り、日々の授業の質を高める。(資質の向上、授業改善、基礎学力の定着と向上)
- ③児童数の急激な減少による複式学級の編成に対応し、学習リーダーを活用した主体的な学習を通して、児童がお互いに学び合う授業を追究していく。
(複式教育、授業改善、ICT機器の活用))
- ④特別支援教育の視点に立った取組を進めるとともに、地域や関係機関との連携を図りきめ細かな児童支援、家庭支援を行う。
(特別支援教育の充実、厳しい環境にある子どもたちへの支援)
- ⑤本校のよき伝統と先人の業績を継承するとともに、家庭や地域、関係機関との連携を図り、故郷に誇りをもつ児童を育てる。(地域との連携・協働、ふるさと教育の継続)
- ⑥命を大切にし、よりよく生きようとする健やかな体と心を育てる。
(命の教育・健康教育の推進)
- ⑦保・幼・小・中の更なる連携を図り、9年間を見据えた教育活動を進める。
(保・幼・小・中連携の更なる進展)

8、研究主題

『伝え合い、認め合い、ともに高め合う児童の育成』

～自分の考えを持ち、とも学びの充実を図る(算数科を通して)～